



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2015-2016 年度
11月号
NO. 314

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

ワイス理解
ファミリーファースト

国際会長：Wichian Boonmapajorn(タイ) 主題：「信念のあるミッション」
アジア地域会長：Edward K.W.Ong(シンガポール) 主題：「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事：渡辺 隆(甲府) 主題：「原点に立って、未来へステップ」
関東東部部長：鈴木雅博(東京江東) 主題：「チェンジ!!」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題：「変化と継続! クラブ一丸!!」

11月例会

と き 2015年11月12日(木)
18:30~20:30

ところ 東陽町センター「多目的室」

受付:野本多美子
司会:森村 実

☆プログラム

開会点鐘 直前会長 高野真治

ワイスソング/ワイスの信条

会長挨拶

ゲスト紹介

食前の感謝/食事

おめでとう誕生日/結婚記念日

ゲストスピーチ

「海外ワインの輸入に関する四方山話」

講師：吉田 稔氏

(エスアールジャパン(株)代表取締役)

スマイル/各種報告

閉会点鐘 直前会長 高野真治

★今月の誕生日

鮎澤正和 メン(18日)

金丸満雄 メン(21日)

奥峪 カ メン(22日)

鮎澤範子 ネット(30日)



10月例会報告

高野真治

10月本例会が東陽町センター視聴覚教室で行われた。鮎澤会長の挨拶の後、ひがしクラブにとってうれしい菅野秋男氏の入会式が金丸満雄関東東部会員増強主査立会のもと鮎澤会長の司式にて行われた。菅野氏の入会で13名のメンバー数となりました。

今月は講師例会ということで講師に警視庁生活安全部少年育成課江戸川少年センターで少年相談担当されている大西美登里先生をお招きして「少年を取り巻く危険」というテーマでお話を聞きました。子供たちの間に急速に普及したスマートフォンに関係した危険性。誰でもが知らないうちにボタン一つ押す



事によって犯罪の被害者や加害者になってしまう危険性があることを知って注意して使っていかなければならない。IT技術の進歩によって子供でも世界中と瞬時に繋がる事ができます。しかし1度流出してしまった個人情報には消去できなくなるのです。今起きている子供に関係する事件は何らかの形でスマートフォンなどの携帯電話が使用されているのが現状です。スマートフォンで写真を撮らない、相手に送らない。問題が起きた時には自分一人で悩んでいないでできるだけ早く相談所に来てほしいとのことであった。

🕊 今月の聖句 🕊

『主はこの母を見て、憐れに思い、「もう泣かなくてもよい」と言われた。』

-ルカによる福音書第7章13節-

10月例会

出席者 11名 ネット 1名
会員出席数 8名 コメット 名
在籍数 12名 ゲスト 2名
(広義会員2名) メンキップ 1名

会員出席率 90%

スマイル

10月
5,500円

累計
27,510円

プルリング

累計
kg

2015-2016年度役員

会長 鮎澤正和
副会長 須田哲史
書記 森村 実
会計 野本多美子
担当主事 花井雅男

☆菅野秋男さん入会☆

10月8日(木)入会式が、司式に鮎澤会長、立会人に金丸関東東部会員増強主査により、厳粛に執り行われました。入会された菅野秋男(スガノアキオ1957.10.5生)さんは、「青少年の健全な育成のために、私たち大人は今何が出来るか常に考えていた折に、YMCAをサポートするワイズメンズクラブの話を聞き入会を決意」の思いにより、夏まつりボランティアを機にひがしクラブに入会されました。現在、法政大学院法科(夜間)に入学され、勉学にも意欲を燃やしています。よろしくお願ひ致します。



□ 第19回関東東部部会 □

鮎澤正和

去る10月3日(土)秋晴れのなか江東区は清澄にある清澄庭園大正記念館に於いて第19回関東東部部会が江東クラブのホストで開かれた。地下鉄が通り交通量もかなり多い清澄通りではあるが、一歩なかに入れば嘘のような静けさと緑の多い空間が待っていた。出席者も渡辺東日本区理事を含む十数名のキャビネットの方々をはじめ北海道部、東新部、あずさ部、富士山部と多岐にわたり、関東東部10クラブのメンバーとあわせて90名超におよんだ。第一部の部会は小松書記の司会で鈴木部長の開会点鐘で始まった。部長挨拶で「年度初めでは新入会員10名獲得が目標だったが既に7名の入会があった。目標をチェンジして30名にする」との爆弾(?)発言が・・・

第二部の記念講演は元日本区理事で京都キャピタルクラブの岡本尚男氏による「ワイズを考える!!!」ご自身の経験を踏まえてのお話で示唆に富んだ内容だった。特に「皆さんは関東東部をどうしたいのか」というくだりは、我々一人ひとりが真剣に考えなければいけないという警鐘と受け取らなければいけないと思った。

第三部のフェロウシップパーティーの準備が整うまでの時間に庭園内を散策したが前述の通り都会とは思えない趣きに浸ることができた(外周に近いところではアスファルトの道路とガードレールが見えたのはご愛嬌)。パーティーは江東クラブの宇田川会長の歓迎の挨拶と服部真湖さんの日本舞踊で幕を開けた。服部真湖さんは下町人形町生まれ、10代でカネボウのキャンペーンガール(今のキャンギャル?)として活躍、今は日本舞踊の指導者、レポーター、司会等で活躍中であるが、乾杯の後の懇談の時には気さくに各テーブルを回って記念撮影に応じてくれた。各種表彰、アピールタイムと続き片山次期関東東部部長の閉会点鐘でお開きとなった。その後は連れだっただこかへ消えていったが、翌日覚えていないという人がいたというのは本当なのか定かではない。

楽しく過ごせた部会ではあったが、前日の大雨で茨城YMCAに係る多くの方が被害に遭われたことが心の痛みとして残った。一日も早く復旧してほしいと願わずにはいられない。出席者:鮎澤、飯田、金丸、菅野、須田、高野

■□ 江東区民まつり奮闘記 □■

菅野秋男

10月17日・18日の2日間にわたり恒例の江東区民まつりが実施されました。初日は朝から雨交じりの天候のため出足もあまり良くありませんでしたが、東京ひがしワイズメンズクラブでは東京YMCA山手コミュニティーセンター館長沖さんの協力を得てクレープ一本にてスタートを切り、まずまずの成績を獲得することができ一安心でした。

翌日18日は朝から好天に恵まれ、ダイビングクラブの方々及び私の学友や従兄弟と共にクレープ・かき氷の販売を開始。昨日の挽回もあって、スタートからテントの外に出での呼び

込みにも力が入り、お客様は長蛇の列。従兄弟はテントの中で氷かきに奮闘、彼の奉仕精神に火を付けたかのように。フルーツ奏者でもあり丸の内の特許事務所に勤務する学友は、初めてとは思えないほどのクレープ焼きの手際の良さに長年の経験者もビックリです。楽器の演奏感覚とは全てに通じる何かを併せ持つのでしょうか。アウトドア派の家族を持つ臼井さんに至っては、テントの外に出て長蛇に並んだお客様からのスムーズなオーダー取りに女性ならではのクオリティーの高さを見せてくれました。お客様からは「このかき氷は安くて美味しいよね」と言っただけ私たちが奮闘させてくれたものです。私も含め協力者の方も、今回のような体験は初めてでしたがとっても楽しいイベントとなりました。このような形で地域に貢献できたことを嬉しく思っております。



□ グランチャ東雲サポート □

★グランチャ東雲秋まつり

10月24日(土)、グランチャ東雲とこどもえん園庭を会場として開催された。昨年まで夏の猛暑の中開催していたが、今年から秋まつりとして、実行委員長もベイサイドクラブ佐竹書記に引継がれ装い新たに開催された。ひがしクラブはクレープを出店し協力した。好天にも恵まれ多くの来場者があり、主催者側安堵の表情。クレープも用意した生地がなくなり急ぎよ即席の生地を作り対処した。

★第5回カローリング大会

10月31日(土)、第5回カローリング大会が開催された。今回は12チームが集い熱戦が行われた。ひがしクラブが当初サポートした関係で、毎回審判を担当している。今回は鮎澤会長と金丸の二人だけの参加であったが、経験を生かし熱戦のゲームを審判した。年々技術が向上され、レベルの高いゲームが繰り広げられた。今年は千石長寿会が優勝し、元気なお年寄りの大会も和やかに無事終了した。



YMCAコーナー

担当主事 花井雅男

▼10月12日(体育の日)、第32回会員ソフトボール大会が出版健康保険組合大宮運動場にて開催された。昨年は雨天中止となり、2年ぶりの開催となった今大会には、過去最多18チームからエントリーがあり、初参加の埼玉YMCA、芝浦交流プラザ、キャナルコート保育園、高等学院含めて総勢285名の参加があった。晴天の中、白熱した試合が行われ、とちぎYMCAと賛助会企業のジョンソンコントロールズ(株)の2チームが優勝の栄冠に輝いた。

▼10月24日(土)、台北YMCA70周年記念式典が台北YMCAにて開催された。アジア各国から約50人の来賓が訪れ、総勢300人が出席。東京からは、評議員会会長の勝田正佳氏、国際委員の神保伊和雄氏、井口保雄氏、廣田光司総主事が出席した。1978年から隔年で開催している台北・東京・ソウルの3都市YMCA指導者会議(STT)他、1990年代の台北YMCA少年スキーキャンプの受け入れや、1999年の台湾大地震における台北と東京のスタッフ・ボランティア協同による被災者救援活動など、台北YMCAと東京YMCAのつながりは深い。2013年には、STTの枠組みの中で東日本大震災のワークキャンプを3カ国の青年たちが集まって実施した。今回の式典では、約15年間総主事を務めたデビット・リー(李輝雄)氏が退任。新総主事としてジェイムス・トウ(饒仁君)氏が就任された。